

実践事例

家庭教育支援事業

「親子 de よりみち広場」

せたな町教育委員会
社会教育主事 東 優希

■せたな町（檜山管内）の紹介



★平成17年に、瀬棚町、大成町、北檜山町が合併

★人口7,563人（令和2年12月現在） 世帯数 4,074世帯

★北海道の南西部、日本海に面する檜山管内最北端に位置

★道南唯一の一級河川「後志利別川」通算17回清流日本一に選出

★「親子熊岩」「三本杉岩」などの奇岩や断崖絶壁が数多く点在

★山・川・海 自然豊かで魅力あるまち



■その他観光資源



日本初「洋上風車 風海鳥」



日本一参道が険しい神社
「太田神社」



日本公許女医第1号
「荻野 吟子」



日本一のロングホールを備えた
「北檜山グリーンパーク」

■ はじめに

本町において未就学児童の保護者を対象に行った調査から、子育てや教育に関する相談体制や情報提供について課題が認められたことから、教育行政には、家庭教育支援の体制の充実が求められた。

	はい	いいえ	どちらでもない
子育て・教育に関する相談対応は充実していますか	44.2 %	15.2%	40.7%
子育て・教育に関する情報提供は充実していますか	32.0 %	17.7%	50.2 %

「せたな町子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度）

■ 家庭教育支援者の養成

令和元年度に、家庭教育支援体制の整備及び充実を図るため、北海道教育委員会が主催する「家庭教育支援者の養成とネットワーク化推進事業」を活用し、家庭教育ナビゲーターの養成及び育成を進めた。



「家庭教育ナビゲーター養成研修会」
講師 姉帯 美和子氏
(コミュニケーショントレーニング)

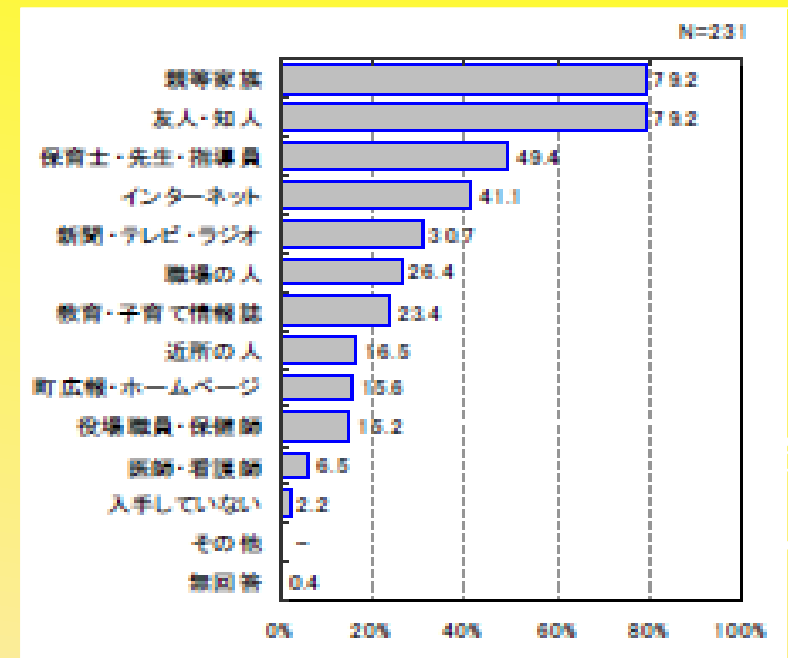


「家庭教育ナビゲータースキルアップ研修会」
講師 菊地 三奈氏
(ネットトラブル防止、おもちゃづくり)

■ 子育てや教育に関する情報の入手先

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた外出等の自粛が続く中、家族や友人等と会えない、または会わない中で、孤立を深めていく子育て中の保護者が潜在していることが予想された。

その理由として、上述の調査においては、子育てや教育に関する情報の入手先の最上位として、約8割の保護者が、「親等家族」や「友人・知人」と回答していたからである。



「せたな町子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度）

■ 家庭教育支援の充実

そのため、新型コロナウイルスの感染状況を見計らうとともに十分な感染防止対策を施す中で、家庭教育支援者を活用した家庭教育の支援体制や整備や学習機会の提供を、3か年で重点的に進めることとした。

- 1 事業名：家庭教育支援事業
- 2 ねらい：家庭教育の支援体制を整備するとともに、保護者が気軽に子育て等の悩みを相談したり、家庭教育について学びを深めたりすることができる場の創出を図る。

■ 家庭教育推進会議の開催

- 1 開催日 : ①令和2年10月5日(月)
②令和2年11月10日(火)
- 2 参集範囲 : ①読み聞かせボランティア
②読み聞かせボランティア
ブックスタートボランティア
家庭教育ナビゲーター
- 3 協議内容 : ①家庭教育支援者の体制づくりについて
②「親子deよりみち広場」の実施について

■ 家庭教育推進会議における決定事項①

1 家庭教育支援者の体制づくりについて

既存の家庭教育ナビゲーターや各種ボランティアを本町における「家庭教育支援者」と位置づけ、子育て世代の保護者に対する家庭教育の支援や学習機会の提供を行う。

	所 属	登録人数
1	家庭教育ナビゲーター	11人
2	読み聞かせボランティア	18人
3	ブックスタートボランティア	15人
4	図書館ボランティア	18人

〔家庭教育支援者の構成〕

■ 家庭教育推進会議における決定事項②

2 「親子deよりみち広場」の実施について

保護者が少しだけ育児から解放されることで、安心して参加できるコミュニティーを創出する。また、家庭教育支援者は、それぞれの専門性を生かし、事業の運営に参画する。

	各種コーナー	プログラム
1	読書コーナー	読み聞かせ等
2	コミュニケーションコーナー	遊び・アニメ鑑賞
3	休憩コーナー	菓子等の提供
4	塗り絵・お絵描きコーナー	塗り絵やお絵描き

〔親子deよりみち広場における各種コーナーとプログラム〕

■ 「親子deよりみち広場」の概要

家庭教育支援事業

親子deよりみち広場

11/15 (日) 10:00～12:00

会場：情報センター 1階

※館内では、新型コロナウイルス感染症の防止策に努めております。
対策にご協力をお願いします。

お散歩の途中やちょっとしたお時間にお子様と一緒に寄ってみませんか？
乳幼児やご興味のある一般の方も歓迎!!!



1 読書コーナー
情報センターで借りた本や自分で持参した本などを読むスペースを設けています！
おススメ本の展示もあります☆ミ

2 コミュニケーションコーナー
小さなお子さんがちょっとした遊びができるスペースを設けています！
簡単な遊びを紹介します♪

3 休憩コーナー
子ども用のジュースやお菓子を準備しています。
お友達と楽しいひと時を・・・

4 塗り絵・お絵描きコーナー
小さなお子さんが塗り絵やお絵描きを楽しむことが出来ます！
塗り絵は持ち帰りもできます♪

下記のとおりに読み聞かせ・上映を行います♪

- ①読み聞かせ (10:15から)
- ②アニメの上映会 (10:40から)
- ③読み聞かせ (11:15から)

都合がつくお時間に気軽にお越し下さい！スタッフもお待ちしております！

お問い合わせ：せたな町教育委員会社会教育係 TEL：0137-84-5111

- 1 参加者：30人（保護者11人、子ども19人）
- 2 運営スタッフ（家庭教育支援者）：13人
- 3 周知方法：町内全戸配布

■ 読書コーナー

子どもたちが、自由に好きな絵本を楽しむことができるコーナーを設置した。スタッフによる読み聞かせでは、子どもたちは、登場人物の動きに合わせて手を動かしたりジャンプしたりと、本の世界に夢中になっている様子がうかがえた。



■ コミュニケーションコーナー

家庭教育推進会議において、スタッフと子どもたちのふれあいの場をつくりたいとの提案があったことから設置したコーナーである。子どもたちは、スタッフと一緒に積み木で遊んだり手遊びを行ったりして楽しんでいた。



■ 休憩コーナー

保護者や子どもたちが、お菓子を食べたりコーヒーやジュースなどを飲んだりできるコーナーを設置した。保護者同士や保護者とスタッフが交流できる場となった。



■ 塗り絵お絵描きコーナー

このコーナーには、幼児向けの塗り絵として、「はたらく車」「くだもの」「どうぶつ」の3種類の塗り絵を準備した。塗り絵は、男の子よりも女の子に人気があった。スタッフは、色選びを困っている子どもたちを支援していた。



■ 成果と課題

- 保護者が集う場をつくることができたとともに、家庭教育ナビゲーターや各種ボランティアの特性を生かした家庭教育支援者の体制を整備することができた。
- 保護者からは、「子どもが活動できるこのような取組は、月に1回あるとうれしい。」などの声も聞かれ、今後の家庭教育支援の推進への足がかりとなる取組となった。
- 想定以上の参加数であり、今後プログラムの拡充や広い会場の確保を検討することが必要である。
- 父親の参加を想定した支援体制を整える必要がある。

■ 次年度に向けて

① 家庭教育支援体制の充実

- 保健福祉課等の他部局との連携の推進
- 家庭教育支援者の研修機会の確保

② 保護者が集う場の充実と学習機会の提供

- プログラムの拡充
- 保護者の学習ニーズの把握
- 父親に対する子育てや家庭教育についての現状把握

■おわりに

今後も檜山教育局・管内教育委員会・各団体等との連携を密に取り合いながら檜山の課題に対しアプローチを行い社会教育の推進に尽力していきたいと思えます。



ご視聴ありがとうございました



せたなのマスコットキャラクター
セターナちゃん 永遠の10歳